

TOPICS

纖維リサイクル研究会の発足

—纖維廃棄物の再資源化に向けた技術とネットワークー

纖維生活部 神谷 淳 (かみたに じゅん)

kamitani@irii.jp

専門：纖維物性、有機化学

一言：工業試験場の利用をお待ちしております。



近年、循環型社会への転換が急務となり、纖維業界ではCO₂排出量削減や水資源の大量消費抑制、衣料品の大量廃棄問題など、環境負荷低減への取り組みが求められています。経済産業省の「纖維技術ロードマップ」(2022年)では、纖維 to 纖維リサイクル技術の推進が明記され、持続可能な製造プロセスの確立が重要課題です。さらに県内纖維業でもSDGs やリサイクルへの関心が高まり、環境負荷低減に向けた技術や取り組みを摸索する動きが広がっています。

こうした状況を踏まえ、工業試験場では本年度から、製造工程で発生する纖維廃棄物のリサイクル技術に関する研究に取り組んでいます(図)。この度、本研究に関するリサイクル技術の共同開発や、さらには広く纖維リサイ

クルに関する情報の収集と発信を目的として、「纖維リサイクル研究会」を発足しました。11月7日には第1回研究会を工業試験場で開催し、10社を超える纖維関連企業や団体にご参加いただきました。今後も多様な技術事例を紹介し、技術者同士の交流を通じて新たなアイデアや連携を生み出す場を提供します。また、他機関との連携や試験場設備を活用した実習や講習も含め、年に2～3回の開催を予定しています。

纖維リサイクルに関心のある方は、ぜひ研究会にご参加ください。

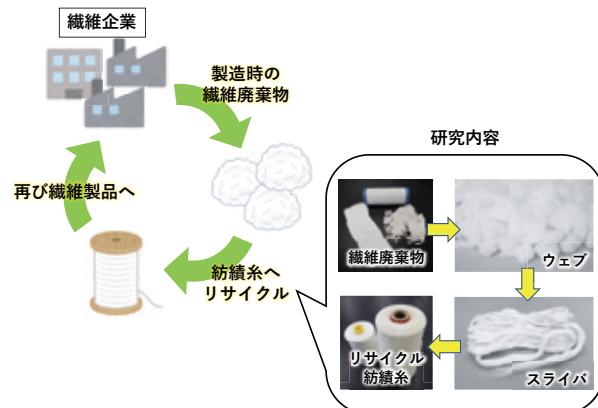


図 工業試験場で取り組んでいる纖維リサイクル技術